

地域への緊密なアウトリーチを行政につなげ、
 地域主体の取り組みを伴走支援



いちのせき市民活動センター

令和6年度「小さな拠点」づくり全国フォーラム
 ～中間支援組織を考える～



いちのせき市民活動センター

岩手県一関市

平成17年
7市町村合併

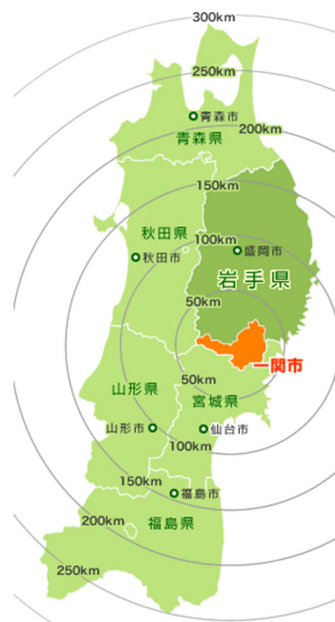
平成23年
藤沢町合併

面積は、
岩手県内第2位

人口105,238人
(R7.1月現在)

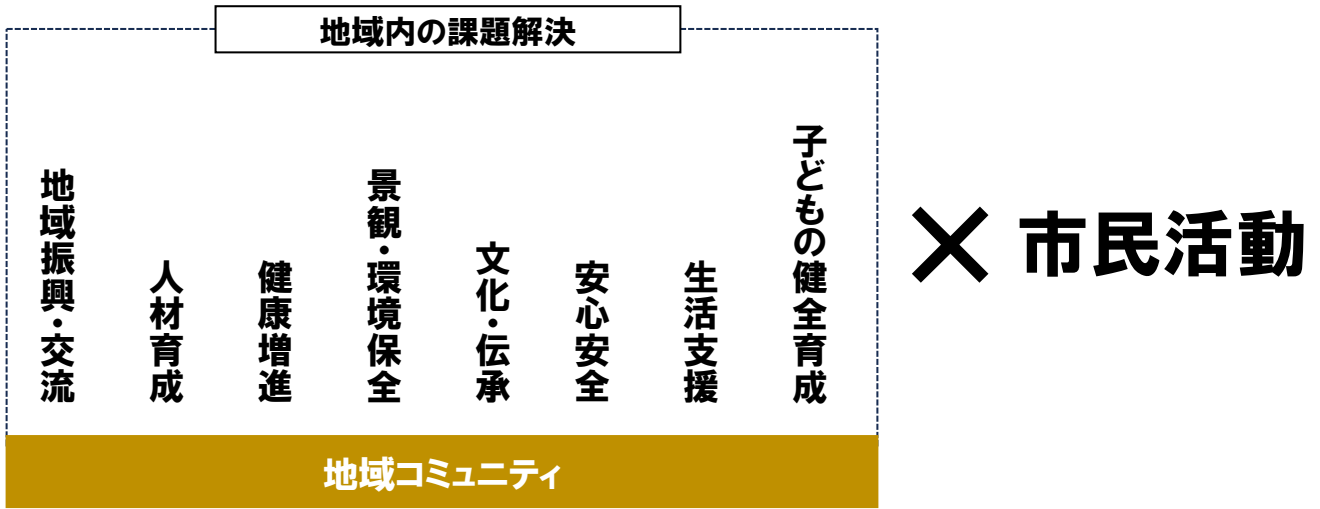
行政区453

市民センター
(旧公民館34)



一関市の市民活動推進事業をNPO法人レスパイトハウス・ハンズが
 受託し、いちのせき市民活動センターを運営している。

地域コミュニティの再生と市民活動



連携・協働

地方はNPOと地域コミュニティのW支援

Mission

地縁と志縁の交わりで自治力の強化

自治会長サミット Vol.13

開催日 2024年7月24日(水)

時間 午後1時30分～午後3時30分 (受付1時15分)

参加費 無料

定員 40名

会場 一宮市川崎市民センター (一宮市川崎市民センター)

テーマ 自治会広報の在り方について

話者提供 専務局長 倉部 成彦氏

対象 一宮市内の自治会長または準する役員(区長・集落公民館長) 自治会広報づくりに関心のある自治会役員 自治会広報づくりに関心のある市民

市民活動の
始めかた
閉じかた
講座

「団体を作り、〇〇の活動を始めた」と考えている方と、「団体を解散し、活動を閉じたい」と考えている方(団体)は、参加していただき、意見を伺います。一つの講座の中で、両方のノウハウを習得することで、「でもせも」を見つめ直し、新しい一歩を踏み出す「きっかけ」にしてください。

【日時】2024年2月10日(土) 9時～12時20分 (受付8時45分～)

【場所】なのはなプラザ4階 共同会議室

【料金】無料

【問合せ】0191-26-6400

地縁と志縁の持続的な活動

- 産業
- 文化
- 安全安心
- 子育て
- 福祉

地縁による取り組み

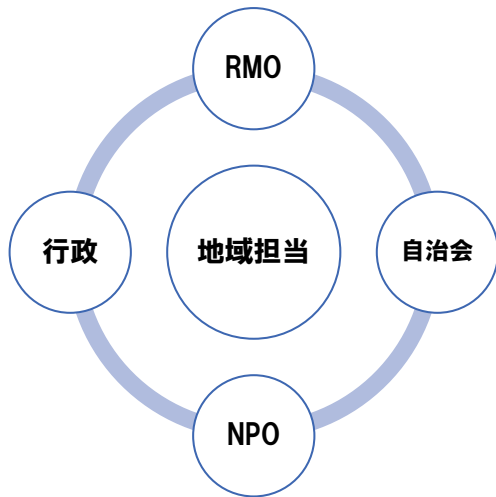
NPOの専門性

【アウトリーチ型】 向き合うべきは現場

・ 旧町村単位で地域担当制

毎月、定期訪問で状況確認

情報誌の発行



定期訪問のコミュニケーションツール

【研修報告】

地域課題の解決に資する“中間支援”の全体像と 一関市の取組み

11月19日(火)

- ・ 分科会① アウトリーチ現場体験
- ・ 分科会② 中間支援の日々の業務
- ・ 分科会③ 一関市まちづくり施策

11月20日(水)

- ・ グループディスカッション

一関研修

アウトリーチ現場体験



一関市まちづくり施策

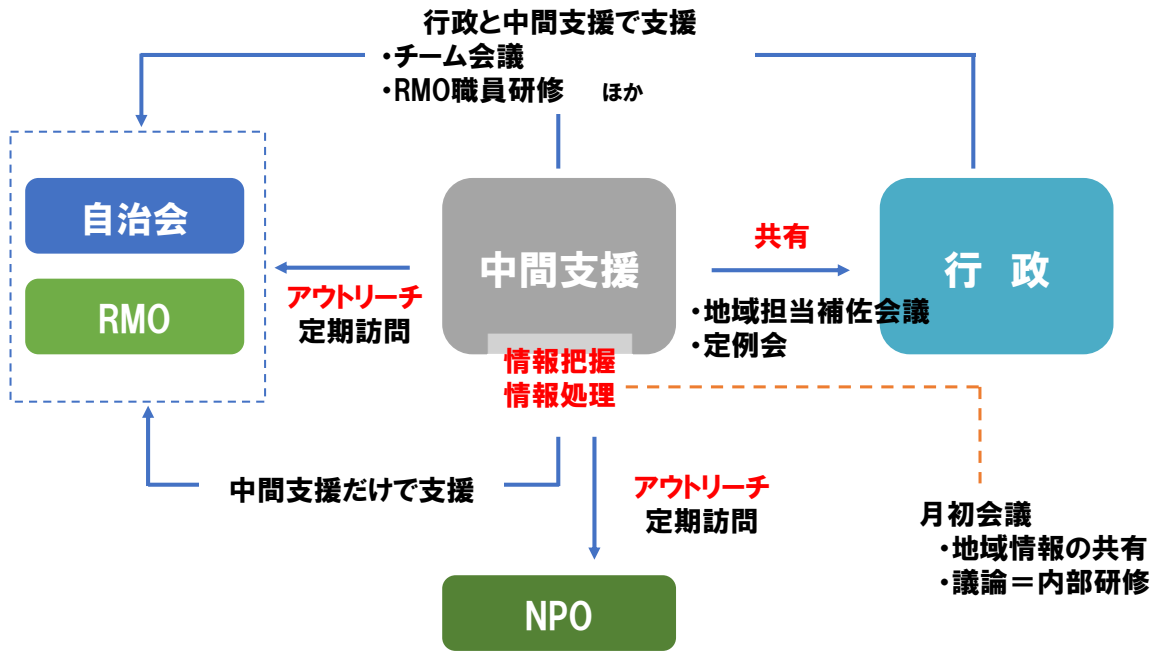


分科会②の希望が少なかったため、市の考え方に中間支援との関係性を含めて、一関スタイルの地域支援を考えた

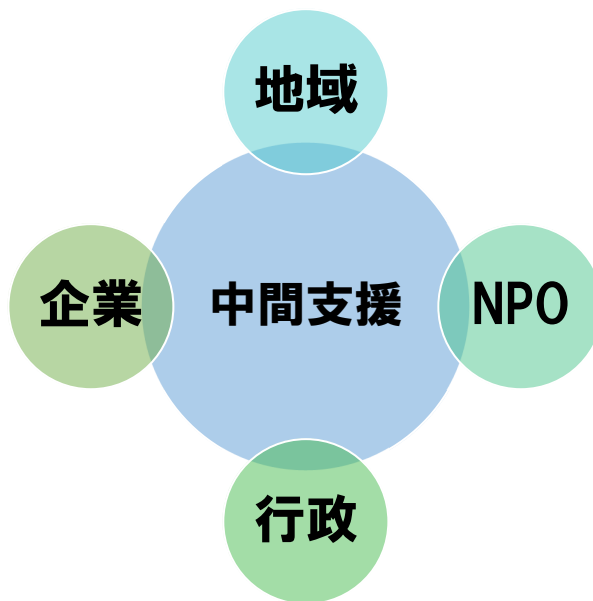


アウトリーチの現場体験と一関市のまちづくり施策から地域支援における中間支援の存在意義を考える研修とした

「小さな拠点づくり」における中間支援の必要性和活躍に必要な環境



中間支援の領域



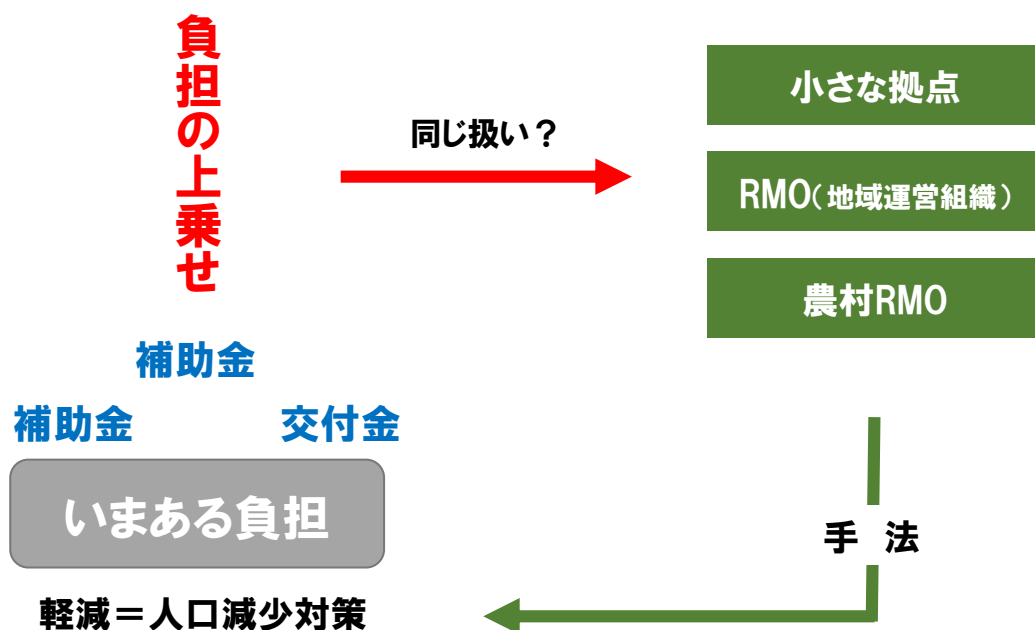
それぞれに絶対領域があり、中間支援が関われる範囲は一部でしかないが、アウトリーチが地域のつながりを紡ぎ支えていく

自治会支援とRMO支援

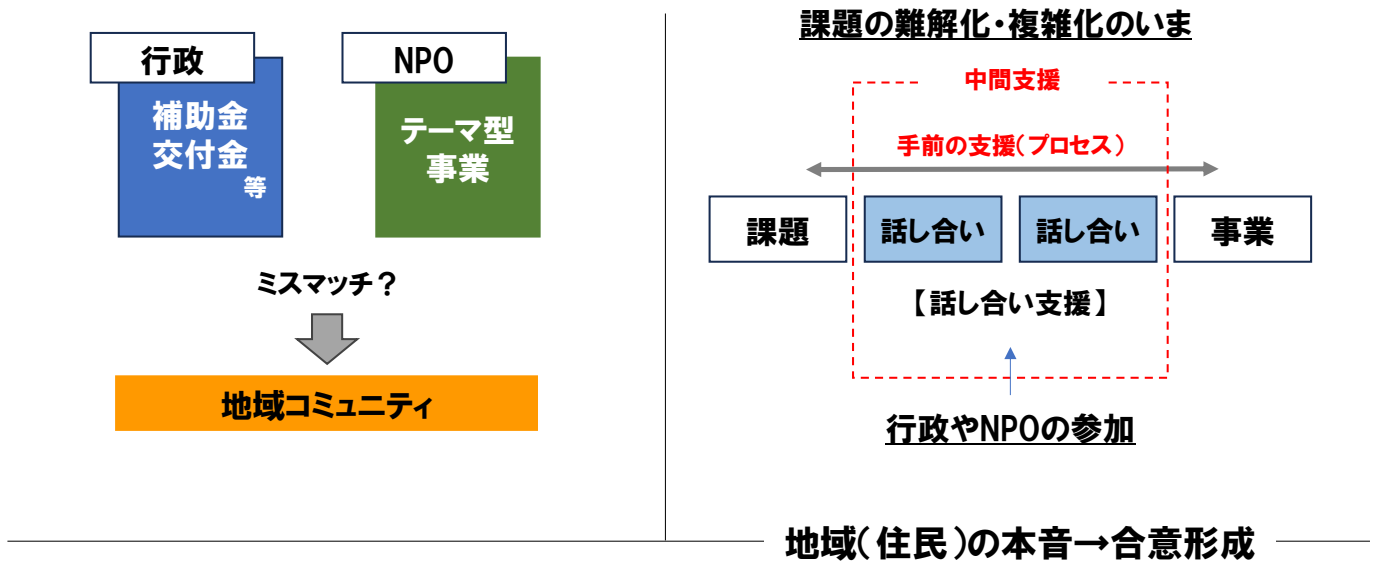
自治会	RMO
<input type="checkbox"/> ほめる	<input type="checkbox"/> 設立(合意形成)
<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 事業運営
<input type="checkbox"/> RMOとの連携	<input type="checkbox"/> 仕組みづくり

いるだけ支援・見るだけ支援・直接支援

「小さな拠点づくり」は制度なのか？手法なのか？



「小さな拠点づくり」における必要な環境



変わっていいことと変わらないこと(変わらなくていいこと)の価値観の合意

地域の持続性のために行政と中間支援の連携

